



青野 光 議員

上下水道事業の進捗状況並びに使用料金

問

- ①簡易水道等の料金の見直しをなぜしないのか。
- ②公共下水道の伊予区域の事業計画期間は平成37年度だが、八倉地区までの供用開始はできるか。
- ③未整備地区の早い解決を。

答 水道部長

①上下水道料金の見直しについては、審議会で審議中である。簡易水道、飲料水供給施設を独立採算にすると、料金が倍増する。料金を統一すると公平かという理解しかなる。総合計画基本構想

の事業を推進し、経営統合等を実施する段階で検討したい。

②計画事業費約106億円を15年間で整備するには、毎年7億円余の予算が必要だが、過去3年間の平均事業費4億円から判断すると、現在の計画は大幅に遅れることが想定される。平成25年度末の事業認可更新時に全体計画を再検討したい。

③本市は、上水道のほか、簡易水道9事業、飲料水供給施設が6事業ある。普及率は、本庁地域98.3%、中山地域63.8%、双海地域53.8%である。普及率の低い双海地域の中でも小規模の水道事業が隣接し、未給水区域が多く点在する上灘地区の整備に着手している。

市職員給与の適正化、合併後の格差是正は

問

①合併後、6年経過した

が、旧中山、双海の職員の給与格差を解消し、不公平感をなくすべきだ。

②人事評価システムで調整した事例はあるか。その時の理事者答弁をどう考えるか。

答 中村市長

①格差是正は、格差解消が目的ではない。努力をした、頑張った職員に適正・公平な評価を行い、昇給・昇格で処遇をする。それで職員の士気を高めるのが私の考え方である。職員の能力をさらに伸ばし、地域住民の期待に応えていくことが自治体を経営する者に課せられた使命だと考えている。どの部署に配属されようと市民のために頑張るということは、職員も理解をしていると考える。

答 総務部長

②現在まで評定結果を直接的に給与に反映させると不公平が生じるため、

反映していない。今期から反映することで、職員に周知している。

当時の助役の発言は、出身市町に関係なく能力を発揮した者、実績を残した者、努力をした者には相応の評価をし、給与の処遇をすることを説明したものと考える。

公共施設の貯水槽の管理運営方法を問う

問

①各小中学校の貯水槽の管理や検査は、どのような計画のもとで実施しているのか。

②長期休校後は、停滞による水質低下の懸念があり、タンクを空にして清掃すべきではないか。

答

教育委員会事務局長

①飲料水水質検査と給水施設検査の法定検査は、検査機関に委託して年1回実施している。法定検査以外でも、日常、学校

環境の衛生基準に基づき、各学校で塩素濃度測定を実施している。

また、学校点検を補完する上で、貯水槽施設などに異常がないか、月1回委託業者による点検を実施している。

②水槽の清掃は、衛生基準に基づいて、業者に委託し、夏休み期間中特に後半に、貯水槽を空にして実施している。



郡中小学校屋上に設置されている水槽

その他の質問事項

・本市の住宅マスタープランの今後について